

「夏休み親子スクール」を開催しました！

7月24日（水）に三井住友信託銀行大分支店（協賛：当委員会）において、8月3日（土）にゆうちょ銀行大分店（共催：当委員会）において「夏休み親子スクール」を開催し、今年度も多くの方々にご参加いただきました。

当イベントは、講座を通じて、自分たちの生活に身近なお金の役割や銀行の働きなどについて親子で考えるきっかけにさせていただくことを目的にしています。

～7月24日（水）三井住友信託銀行での集合写真～



～8月3日（土）ゆうちょ銀行での集合写真～



当委員会からは、7月24日（水）には衛藤 千江美 金融広報アドバイザー、8月3日（土）には衛藤 千江美 金融広報アドバイザー、若松 亜希子 金融広報アドバイザーが児童向けの講座として、「お買いものビンゴゲーム」を実施しました。「お買いものビンゴゲーム」では、ビンゴゲーム形式により、児童たちが限られたおこづかいを自分の判断でやりくりすることや、おこづかい帳の記入の仕方などを楽しみながら学んでいました。

～お買い物ビンゴゲームの様子～



また、事務局員から2024年7月3日に発行開始した新紙幣のこと、破れたお札の引換基準などについて説明を受け、最後に「一億円の重さ体験」を実施しました。本物と同じ重さの一億円パックの模型を持って、その重さを体感しました。

三井住友信託銀行では、児童のビンゴゲーム中に大人向けに「資産形成について」の講座を行いました。その他にも、同行職員の指導を受けながら練習用のお札を使って「札勘体験」を行い、児童と大人と一緒にお札の数を数えていました。お札を扇形にしようと頑張っている様子がとても印象的でした。

また、「銀行探検」では、貸金庫や店頭を見学したほか、「名刺交換」では同行が用意してくれた自分の名刺を使って名刺交換することができました。

ゆうちょ銀行では、金融教育「お金のちしき」と題して、お金の役割や、銀行の仕事、税金などについて学ぶ講座を実施し、児童たちが大人と一緒にお金に関する知識を習得していました。クイズ形式で進めていく中で児童たちが楽しみながら学んでいる様子がうかがえました。

今回のイベントが、児童たちにとって、夏休みの良い思い出となるとともに、今後も引き続き親子でお金について学ぶ機会になれば幸いです。

以上